

2018年4月の3学部化へ向けて、学生が主体的に学ぶことができる新拠点が始動。

きょうもんかん

大谷大学「慶聞館」全エリア グランドオープン 竣工記念式典及び内覧会のご案内

2018年3月22日（木）

【竣工記念式典】10:30～（受付10:00～）【内覧会】式典終了後～12:00

大谷大学(所在:京都市北区小山上総町/学長:木越 康)は、学生の主体的で多様な学びを実現する本部キャンパス総合整備計画の新教室棟「慶聞館」全エリアを、2018年4月よりグランドオープンします。

つきましては、同日10時30分より竣工記念式典、竣工記念式典終了後に内覧会を行う運びとなりましたので、報道関係者の皆様には、是非ご取材いただきたくご案内申し上げます。

大谷大学は、開学以来初となる複数学部化を行い、2018年4月より文学部・社会学部・教育学部の3学部体制に移行します。これに伴う2018年度の一般入試では志願者数が226.6%増加しています。

本学では、2016年6月より、伝統を踏まえつつ未来を見据えた新たな大谷大学を創造する事業として、教育・研究力のより一層の充実を図り、学生が主体的に学ぶことが出来る新しい環境づくりを目指した、本部キャンパス総合整備を行ってきました。この度、第3期工事が終了し、本年4月より、新教室棟「慶聞館」を始動する運びとなりました。



慶聞館は、誰にとっても使いやすい「ユニバーサルデザイン」を念頭に、館内各所に自然エネルギーを活用するなど、環境や省エネに配慮しています。

1階中央部には、学生ロビー「ミナイール・プラザ」を配置し、学生のさまざまな学びや活動をサポートする多目的のスペースとして利用できます。



そのまわりには、学生支援部事務室(学生支援課・教務課・キャリアセンター)をはじめ、学習支援室(LEARNING SQUARE)、語学学習支援室(GLOBAL SQUARE)、文藝塾などの学生生活のサポートセンターやカフェを設置しています。また、2～5階には、ガラス張りで明るく開放的な教室が並び、情報系教室や教員の個人研究室も配置しています。学生が自由に利用できるマルチスペース(マルチ・サブゼミ・コモン)なども多数備えており、学びに応じてさまざまな使い分けが可能です。

報道関係者の皆様には、ぜひご取材いただきたくお願い申し上げます。

<本件に関する報道関係者の皆様からのお問合せ先>

大谷大学 企画課 安井・平岡 TEL: 075-411-8115 FAX: 075-411-8149

大谷大学広報デスク (プランニング・ボード内) 福嶋・橋本・古瀬 TEL: 06-4391-7156 FAX: 06-4393-8216

※式典および内覧会へご出席いただける方は、3月20日（火）までにFAX返信用紙にてご連絡をお願いします。

「慶間館」概要

《竣工記念式典・内覧会について》

■日程 : 2018年3月22日(木) 竣工記念式典 10:30~(受付10:00~)、内覧会 式典終了後~12:00

■場所 : 大谷大学 慶間館 ※竣工記念式典は講堂棟1階講堂
京都市北区小山上総町

※京都市営地下鉄烏丸線 国際会館行「北大路」駅下車徒歩すぐ JR京都駅から乗車時間約13分

《施設概要》

■広さ 建築面積 4,096.74㎡ 延床面積 14,593.53㎡ 建物高 19.52m

■フロア構成

名称	1階	2階	3階	4階	5階
学生ロビー	○				
学生支援部事務室	○				
学生サポート機能 【学習支援室/語学学習支援室/文藝塾/実習支援センター】	○				
大教室	○	○	○		
中教室		○	○	○	
情報系教室・セミナールーム			○		
ディスカッションルーム		○			
小教室			○	○	○
交流スペース(マルチスペース)		○	○	○	○
交流スペース(サブゼミスペース)		○		○	
交流スペース(コモンスペース)					○
教員個人研究室				○	○
響流館接続ブリッジ				○	

■特長
慶間館は、誰にとっても使いやすい「ユニバーサルデザイン」を念頭に、館内各所に自然エネルギーを活用するなど、環境や省エネに配慮しています。

1階中央部には、学生ロビー「ミナイル・プラザ」を配置し、学生のさまざまな学びや活動をサポートする多目的のスペースとして利用できます。

そのまわりには、学生支援部事務室(学生支援課・教務課・キャリアセンター)をはじめ、学習支援室(LEARNING SQUARE)、語学学習支援室(GLOBAL SQUARE)、文藝塾などの学生生活のサポートセンターやカフェを設置しています。

また、2~5階には、ガラス張りで明るい開放的な教室が並び、情報系教室や教員の個人研究室も配置しています。学生が自由に利用できるマルチスペース(マルチ・サブゼミ・コモン)なども多数備えており、学びに応じてさまざまな使い分けが可能です。



「慶間館」施設紹介

学びのサポート

慶間館は全教室にプロジェクタを整備するとともに、館内に整備されているWi-FiをはじめとするLAN設備とさまざまなデバイスを扱うAV設備と什器を充実させ、さまざまなスタイルの授業に対応させるように整備しています。

①1F 大教室(スロープ教室)

300人収容できる大教室を2室配置し、授業のほか、シンポジウムなどが開催できるよう対応しています。前方にあるプロジェクタや黒板を後方から見た際の視認性を向上させるため、室内は傾斜をつけて設計しています。さらに、車イスを利用した方でも最前列の教壇まで円滑に移動できるよう、バリアフリーにも対応しています。



①

②2F ディスカッションルーム

教室内にある2台のプロジェクタで同じ映像を左右両面に投影したり、2グループの映像を個別に投影することが可能です。また、グループディスカッションの際には、教室内で一人掛の机を自由に移動させることができます。



②

③3F セミナールーム

教室内にある5台のプロジェクタのうち、1台は教室前方に投影する教員用、残り4台はそれぞれの個別映像を投影することができます。グループワークはもちろん、遠隔地とのディスカッションの模様と教室内の資料を、プロジェクタで個別に指定して投影することも可能です。



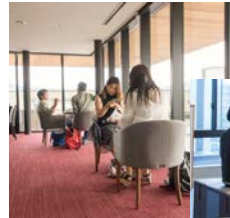
③

④マルチスペース⑤サブゼミスペース

⑥コモンスペース

マルチ・サブゼミ・コモンスペースは、グループワークや輪読会、ミーティング、模擬授業、模擬プレゼンテーションなど、正課授業以外のさまざまな学びをサポートしています。

机やイスのデザインが場所ごとに異なるので、お気に入りの場所を見つけて利用する学生もいます。



④



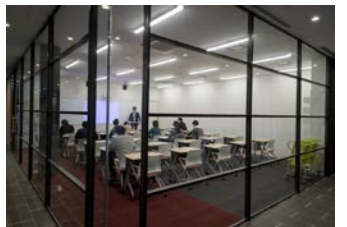
⑤



⑥

⑦文藝塾

小説や詩を創作するために必要な技術や、知識や集中力を身につけたい、将来、ライターや編集者など文学に関わる仕事を目指したい学生のために「文藝塾」を開設しています。今般、文藝塾受講者が「第8回言の葉大賞(参照URL <http://www.kotonoha-taisho.jp/>)」の入賞者となりました。



⑦

⑧学習支援室(LEARNING SQUARE)

英語と日本語表現の基礎知識を身につけることでのサポートを中心に行い、レポートや卒業論文を作成する土台の力を養います。担当のアドバイザーが個別指導を行います。



⑧

⑨語学学習支援室(GLOBAL SQUARE)

外国語学習サポートとして、授業とは別に7か国語(英・独・仏・中・韓など)の勉強会を希望者を募って少人数の規模で開き、検定対策や会話練習などをアットホームな雰囲気の中で楽しく学ぶ機会を提供しています。留学サポートでは、留学説明会や学術交流協定校の紹介を行い、個別相談を実施しています。



⑨

「慶聞館」施設紹介

⑩伐採樹木を利活用した什器

大学の歴史・財産を大切に残すという方針のもと、旧校舎の建築部材や壁彫、慶聞館建築のために伐採した樹木は、慶聞館内外で利活用しています。特に、楠やヒマラヤ杉は、慶聞館内のテーブル、ベンチ、スツール、カウンターや書架に姿を変えて、その歴史を継承しています。



⑩

⑪環境や省エネに配慮したユニバーサルデザイン

1階から5階に抜ける中央の吹き抜けは、上階につれて開口部を広くした設計で温まった空気を排気する館内重力換気です。また太陽光発電を採用したシーリングファン、建物東面に沿って、屋外での体感温度を下げるドライミスト、地熱を利用したクールヒートチューブを館内地中に埋設し、夏は涼気・冬は暖気を館内に循環させています。



⑪

⑫トイレ(アロマ・パウダールーム)

慶聞館内のトイレはフロアごとに配色やデザインに変化をもたせつつ、バリアフリーに配慮し、1階中央の多目的トイレとは別に、車イスを利用した方が使用できるトイレを各階に設置しています。

1階北西角のトイレ(男・女)には、アロマディフューザーも整備しました。また、各女性用トイレにはパウダーコーナーが設置され、1階北西角の女性用トイレにはパウダールームも整備しています。



⑫

⑬カフェ

焼きたてパンやドリンクメニューが充実しており、唐揚げやフライドポテト、お菓子も販売しています。シーズンメニューのドリンクやジェラート、毎月のベーカリーフェアなど数多くのイベントも実施されます。通常10時から17時で営業しており、一般の方の利用も可能です。



⑬

⑭響流館連結ブリッジ

教育・研究活動をより機能的に融合させるため、慶聞館4階と図書館・総合研究室・博物館・真宗総合研究所などの各研究施設が配置される響流館の3階部分をブリッジで連結させています。



⑭

⑮キャンパスウォール⑯ウッドデッキ

駐輪場は、学生・教職員の安全を確保するため、キャンパスウォールと慶聞館で区画し、動線の干渉を回避させるよう整備しています。

また、北門からの動線確保として響流館西北側には大階段と植栽によるオープンスペース、響流館西南側にはウッドデッキを整備し、尋源館を中心とするキャンパス全体の空間を演出しています。



⑮



⑯

【FAX返信先：06-4393-8216】

《FAX返信用紙》

大谷大学 広報デスク
(プランニング・ポート内) 福嶋・橋本・古瀬 宛

2018年4月の3学部化へ向けて、学生が主体的に学ぶことができる新拠点が始動。

きょうもんかん

**大谷大学「慶聞館」全エリア グランドオープン
竣工記念式典及び内覧会のご案内**

2018年3月22日（木）

【竣工記念式典】10:30～（受付10:00～）【内覧会】式典終了後～12:00

●3月22日（木）竣工記念式典および内覧会

ご出席（竣工記念式典 内覧会） ご欠席

※準備の都合上、3月20日（火）までにFAX返信用紙またはお電話にてご連絡をお願い申し上げます。

媒体名		
御社名		
部署名		
ご芳名	計 _____ 名様	
連絡先	TEL	FAX
当日のご連絡先	携帯TEL	
《備考欄》 ご取材につき、ご要望・ご質問等ございましたら、ご記入願います。		